

製品名: CD1a マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM84941

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	/

抗原情報

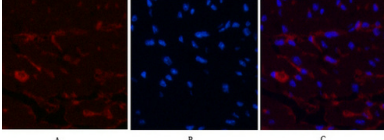
遺伝子名	CD1a
別名	CD1A; T-cell surface glycoprotein CD1a; T-cell surface antigen T6/Leu-6; hTa1 thymocyte antigen; CD antigen CD1a
遺伝子 ID	909.0
SwissProt ID	P06126
免疫原	KLH に結合した合成ペプチド。

背景

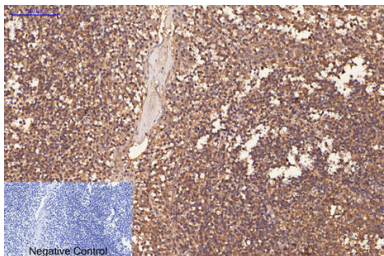
自己および非自己の脂質および糖脂質抗原に結合し、ナチュラルキラー T 細胞上の T 細胞受容体に提示する抗原提示タンパク質。

研究分野

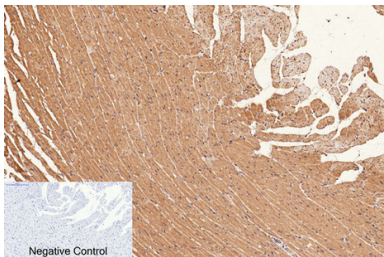
画像データ



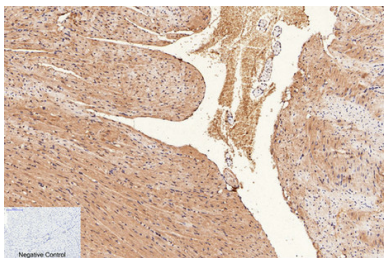
CD1a 抗体(9H6)(赤)および DAPI(青)を使用したマウス心臓組織中の CD1a の免疫蛍光分析。



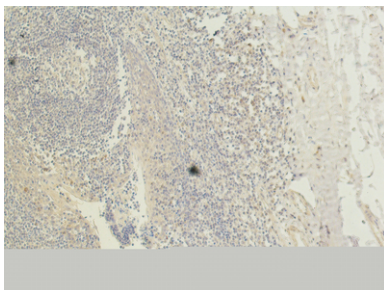
CD1a 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD1a 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD1a 抗体を用いたパラフィン包埋マウス心臓組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。ネガティブコントロールとして、二次抗体のみを用いた。



CD1a 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。